

「秋田焼山」火山噴火時の減災計画検討に着手

「秋田焼山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討に先立ち、国・県の砂防部局と学識経験者、気象台等による現地調査を行います。

日時：平成27年10月6日（火）・9日（金）

10：00～16：50（予定）

両日ともに内容は同じです。

場所：玉川ダム管理所（仙北市田沢湖玉川字下水無92） ほか
内容：

① ヘリによる上空からの調査 10：20頃～

※当日の天候によりヘリでの調査を中止する場合があります。
その場合、以降の予定が変更になります。

② バスによる周辺施設等の調査 13：20頃～

酸性水中和処理施設、玉川温泉、後生掛温泉

（取材について）

ヘリやバスへの搭乗を希望される報道機関の方は、事前に連絡をお願いします。搭乗人数に限りがあるため、搭乗できない場合があります。

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・角館支局・湯沢支局

《問い合わせ先》

秋田県 建設部 河川砂防課

TEL 018-860-2518（直通）

砂防・防災班 佐々木 政彦・佐々木 長史

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

TEL 0183-73-5544

技術副所長 佐藤 徳男（内線204）

○調査第一課長 林 将宏（内線351）

【現地調査の目的】

国土交通省と秋田県では、火山噴火に伴う土砂災害が発生した際の減災を目的とした「秋田焼山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討に今年度着手します。

検討にあたり国・県の砂防部局と学識経験者、気象台、行政機関等で構成する委員会を設置しますが、委員会開催に先立ち、秋田焼山の現状や地形条件、温泉等の保全対象、施設整備状況等について把握することを目的に委員会メンバーによる現地調査を実施します。

(参考)

秋田焼山は、秋田県北東部、鹿角市と仙北市との境界に位置し、有史以降噴火活動を繰り返している標高1,366mの活火山です。特に、1997年5月11日には北東山麓の澄川温泉付近において地すべりに伴う水蒸気噴火が発生しており、さらに同年8月16日には山頂部においても水蒸気噴火が発生しています。

このようなことから、秋田焼山は、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできるだけ軽減（減災）することを目的とした「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定対象火山の1つとなっています。

(火山噴火緊急減災対策砂防計画とは)

いつどこで起こるか予測が難しい火山噴火に伴い発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減するため、地方整備局及び都道府県の砂防部局が策定するハード・ソフト対策からなる火山噴火時の緊急対応を定める計画。

